

平成 30 年度第 1 回袋井市市有財産の利活用に関するサウンディング型市場調査の結果について

1 調査実施概要

平成 30 年 9 月 13 日から 21 日の間に対話を実施し、10 事業者から以下のおりのご提案をいただいた。

2 提案の概要 ※《 》内は提案事業者数。

(1) 袋井市民体育館《4》

地域住民や市民の憩いの場となるよう、隣接公園と一体的に再整備することが提案された。また、既存施設の解体費は過大であるものの、宅地として市場性が高く、分譲住宅地としての開発が提案された。なお、定期借地権を活用し、市が宅地分譲することも提案された。

(2) 袋井消防本部（署）関連施設《5》

商業地としての市場性が高く、当該市有地を活用した既存施設の再利用や近隣施設の拡張など、地域一帯の開発について提案がされた。

(3) 禰宜弥市有地《5》

宅地としての市場性は高く、宅地分譲及び店舗を併用した防災拠点施設としての整備の提案がされた。なお、定期借地権を活用し、市が宅地分譲することも提案された。

(4) 小川町旧浄化センター跡地《2》

施設処分費が過大であるため市場性は低く、当面の間市が所有し、駐車場等の貸付による収益物件として活用することが提案された。

(5) 南町旧污水处理場跡地《1》

同一敷地内に汚水の幹線が埋設されていることやプロパンガスの集積施設があることから市場性は低く、当面の間市が所有し、駐車場等の貸付による収益物件として活用することが提案された。

(6) 旧市民病院看護師宿舎《2》

旧袋井市民病院敷地全体の将来計画が不確定なことから事業の具体化は困難だが、汎用性のある場所であり市場性は高いとして、医療施設の設置及び宅地分譲等の提案がされた。

3 今後の事業展開

- (1) 今後、今回の提案に基づき市有地活用方法を検討し、年内を目途に市としての活用方法を決定する。
- (2) 決定した活用方法に基づいた事業実施者選定のための公募型プロポーザルの実施方法を検討し、年度内を目途にプロポーザルの実施内容を決定、併せて各地域での説明会を実施する。
- (3) 本年度末前後を目途にプロポーザルの実施を公表し、概ね3か月後にプロポーザルを実施し、優先交渉事業者を選定する。

【 問い合わせ先 】

袋井市役所 企画財政部 財政課 契約管財係

電話番号 0538-44-3102

E-mail zaisei@city.fukuroi.shizuoka.jp